



# テクニカルダイアリー



●「おはよう」  
播種後95日前後で収穫できる中早生種。播種期および収穫期の幅が広く、栽培適応性が高いので安定出荷できます。

●「サマードーム」  
播種後95～105日前後で収穫できる中早生種。抜群の耐暑性があります。

●「ハートコサハ」  
播種後105～110日目で収穫できる中生種で、「おはよう」より10～14日ほど晩生。アントシアンフリーで低温伸長性に優れます。

## 品種

ブロッコリーは栄養が豊富で健康野菜として消費・生産量が増加しており、2026年度から農林水産省の「指定野菜」に追加されます。今回は、夏播き・秋冬取りの基本的な栽培についてまとめました。

## 定植

128穴セルトレイで育苗し、本葉2.5～3枚(育苗日数25～30日)が定植の目安となります。

湿害に弱いので、排水性の悪い圃場ではあらかじめ高畝栽培や排水対策を行いましう。定植作業や灌水は夕方涼しい時間に行い、定植後の活着を促します(図③参照)。

## 温度と湿度

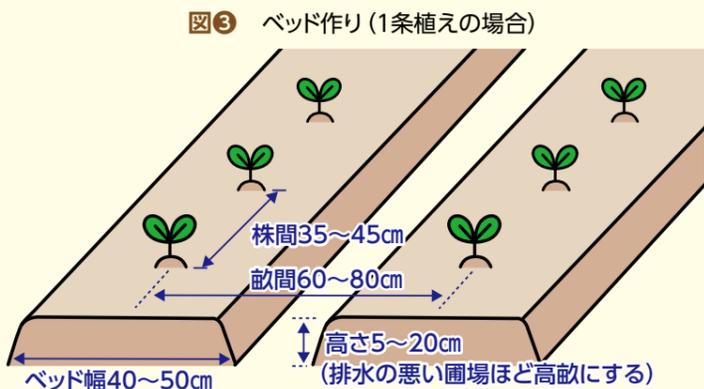
発芽適温は25℃前後ですが、生育適温は16～20℃です。生育段階で25℃以上になると徒長しやすくなり、病害が発生する恐れが高まります。土壌が多湿になっても徒長しやすくなるため、水はけのよい土壌作りが大切です。

## 「ブランドーム」

播種後115～120日程度で収穫できる中晩生種。花蕾の肥大性に優れています。

## 追肥

定植して2週間前後に1回目、花蕾が発生するころ(定植後35～40日前後)に2回目の追肥を行います。施用量は窒素成分で10ア当たり4～5kgです。遅くとも11月下旬までに施用し、地上部の生育を促しましょう。



●原因と対策  
エフボ症(フタバナ)や肩コケと呼ばれる肩障害は、主にニンジンの首元が強風等によって損傷を受けた場合や、高温・乾燥によって表皮が癒着し、それらが組織内に巻き込まれると発生します(写真①②、図①参照)。昨年のように8月が極端な高温かつ乾燥している状況は、肩障害の発生しやすい環境です。

空洞症は、初期生育がなかなか進まなかった後に急激に肥大すると発生しやすいです(図②参照)。昨年は8月の初期生育の不調に加え、肥大が進む10月

## 令和5年産の振り返り

昨年の秋冬ニンジンは、播種時期に高温・乾燥の影響を受けた結果、早播きの早生品種においてエフボ症(フタバナ)や肩コケといった肩障害、10月以降に急激に肥大したことによる空洞症などの症状が散見されました。今回は、それらの発生メカニズムと対策について紹介します。

## 原因と対策

エフボ症(フタバナ)や肩コケと呼ばれる肩障害は、主にニンジンの首元が強風等によって損傷を受けた場合や、高温・乾燥によって表皮が癒着し、それらが組織内に巻き込まれると発生します(写真①②、図①参照)。昨年のように8月が極端な高温かつ乾燥している状況は、肩障害の発生しやすい環境です。

るに比較的温暖だったことが重なり、早播きの早生品種において症状が多く見られました。

これらの症状の対策は、早生品種の播種時期を遅らせることです。愛紅が登場した20年前と比較して近年7月末～8月初旬の土壌は極端に高温で乾燥しているため、ニンジンの生育には不向きな環境になっています。また、肥大が進む秋口も暖かいため、8月5日以降に播種したとしても、従来の早播きニンジンの出荷時期に十分間に合います。特に愛紅で栽培に取り組む場合には、8月5日～8月25日ごろに播種することをお勧めします。

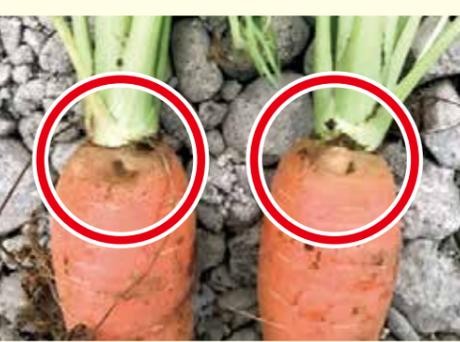
## ビームの新型が登場！

センチュウ防除のビーム剤にフロアブル剤が登場しました(写真③)。剤剤よりも軽く小さいことから、運搬の労力軽減、省スペースになります(使用量は10ア当たり250ミリリットル)。散布に適したドローンやブームスプレーヤーをお持ちの方は、ぜひお試しください。

センチュウ防除のビーム剤にフロアブル剤が登場しました(写真③)。剤剤よりも軽く小さいことから、運搬の労力軽減、省スペースになります(使用量は10ア当たり250ミリリットル)。散布に適したドローンやブームスプレーヤーをお持ちの方は、ぜひお試しください。



写真③ ビームプライムフロアブル

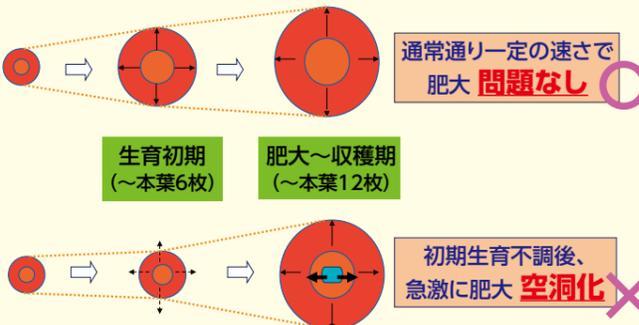


写真② エフボ症(写真①の痕跡が残ったもの)



写真① 裂開した胚軸

図② 「空洞症」発生の原因



図① 播種時期による肩障害発生頻度の差異



※図・写真提供:住化農業資材(株)

## 「営農情報メール」配信中!

作柄情報、病害虫対策、青果物概況、イベント案内など、営農に役立つ最新情報をお届けします。



←登録はこちらから  
(登録無料)

JA山武郡市の組合員なら  
どなたでも登録できます。

## 営農なんでも相談室

皆さまの営農に関するお悩みを、JAの総合事業の力で解決! 栽培管理、コスト削減、規模拡大、求人・雇用のことなど、お気軽にご相談ください。

JA山武郡市  
営農なんでも相談室(本所 営農部内)

☎ 0120-972-860

